

# 平成29年 佐伯市消防団 出初式実施要領

## 「準備会場」

<団員は、機械器具等を所定の位置に配置後、すみやかに準備会場に集合すること。>

放水点検用資機材（小型ポンプ等）は、予め放水点検会場の所定位置に設置し、積載車は、本会場下流側（分列行進控所）に順次配置する。  
※消防職員が誘導を行いますので、それに従うこと。

※小型ポンプ設置場所                      （旧大橋側）佐伯方面隊 ～ 蒲江方面隊  
※別紙図面 参照

※防火着・ヘルメット置場              準備会場車両控所の上流側  
※別紙図面 参照

<団員集合>   マイク放送              8:55

『団員は、準備会場に集合して下さい。』

### (1) 指揮者（各方面隊長・方面副隊長）

指揮者は、右手を垂直に挙げ『〇〇方面隊、縦隊に集まれ』と号令をかけ、最右翼先頭分隊長が右手を垂直に挙げ『基準』と呼称したら右手を下ろし、半ば右向け右を行い、隊の中央1.5メートルの位置に左向け停止の要領で停止後集合要領を監視する。

### (2) 最右翼先頭分隊長

最右翼分隊長は、指揮者の『〇〇方面隊、縦隊に集まれ』の号令後指揮者と5メートルの距離をとり基本の姿勢となり右手を垂直に挙げ『基準』と呼称、列員の3分の1以上が集合線に並んだのを確認後手を下ろし頭を左に向け整頓状況を確認して頭を正面に戻す。

### (3) 隊 員 ( 右 翼 基 準 列 員 )

最右翼基準列員は、前列員と1. 2メートルの距離をとって重なり頭を左に向け、隊列の整頓状況を確認し頭を正面に戻す。

### (4) 他 の 隊 員

他の隊員は、前列員に重なった後、基準列員を基準にして右手を腰にあて頭を右に向け基準列員に整頓する。

次に、基準列員が頭を正面に戻したら右手を下ろした後、頭を正面に戻す。

### (5) 指 揮 者

自発的整頓終了後『ならえ』『直れ』の号令をかけ整頓を確認後『番号』と号令をかけ隊員数を把握する。

次に、『整列一休み』と号令をかけ隊員を休ませた後まわれ右をして正面向きとなり整列休みの姿勢をとる。

### (6) 隊 員 ( 右 翼 基 準 列 員 )

自発的整頓終了後、指揮者の『ならえ』『直れ』の号令で整頓し『番号』の号令後順次番号を呼称する。

### (7) 他 の 隊 員

自発的整頓終了後、指揮者の『ならえ』『直れ』の号令で整頓をする。

## <人員報告・団長 あいさつ>

### (1) 副 団 長

団長が臨場したら基本の姿勢をとり『気をつけ』と号令をかけ、団長が正面を向いて停止したら『かしら一中』と号令をかけ挙手注目の敬礼、答礼を待って手を下ろし正面を向き『直れ』と号令をかける。

### (2) 他 の 指 揮 者

副団長の『かしら一中』の号令で挙手注目の敬礼を行い『直れ』で手を下ろすと同時に正面を向く。

### (3) 隊 員

副団長の『かしら一中』の号令で注目の敬礼を行い『直れ』で正面を向く。

#### (4) 団旗手・隊旗手

団旗手を先頭に、副団長の右横に縦列に整頓する。

部隊の敬礼時には、団旗手は拳手注目の敬礼、その他の旗手は注目の敬礼を行う。

### <人 員 報 告>

#### (1) 団 長

各指揮者の「〇〇方面隊、〇〇名」の人員報告に対し、「よし」と答え答礼を行う。（※順次、指揮者の人員報告を同様に受ける。）

#### (2) 指 揮 者

部隊の敬礼後各指揮者は、一斉に半ば右(左)に向きを変え団長に相対し最右翼指揮者から順次敬礼を行い『〇〇方面隊、〇〇名』と報告して敬礼、団長の答礼後、手を下ろし正面を向く。

※各指揮者は、右隣の指揮者が人員報告を行った後、団長へ敬礼する時に同時に敬礼を行い、手を下ろし人員報告を行うこと。

#### ※人員報告後、団長あいさつ

#### (3) 副 団 長

団長のあいさつ終了後『かしら一中』と号令をかけ拳手注目の敬礼を行い、答礼を待って手を下ろし正面を向き『直れ』と号令をかける。

号令後、団長が退場したら、『整列一休め』の号令をかけ部隊を休ませた後整列休めの姿勢をとる。

#### (4) 他 の 指 揮 者 ・ 団 旗 手

副団長の号令に従うこと。

部隊の敬礼時には、拳手注目の敬礼を行う。

#### (5) 隊 員 ・ 隊 旗 手

副団長の号令に従うこと。

部隊の敬礼時には、注目の敬礼を行う。

## ※各方面隊にて服装点検を実施

### 「団員入場」

マイク放送 9 : 2 5

#### (1) 指揮者

指揮者は、マイク放送後基本の姿勢をとりまわれ右を行い『〇〇方面隊、気をつけ』『目標、点検会場』と号令をかけ、まわれ右を行い正面向きとなり『かけ足一進め』と号令をかけ発進する。

点検会場の指揮位置に、部隊より先行して停止（本部席に相對）後、まわれ右を行い（部隊に面し）部隊が到着するのを待ち、部隊が所定の位置に到着後『かけ足一止まれ』と号令をかける。

自発的整頓終了後、『ならえ』『直れ』『整列一休め』と号令をかけ部隊を休ませた後まわれ右（本部席に相對）を行い整列休めの姿勢をとる。

#### (2) 隊員

指揮者の『〇〇方面隊、気をつけ』の号令に従い『目標、点検会場』『かけ足一進め』の号令後かけ足で点検会場に入場、所定の位置に到着後指揮者の『かけ足一止まれ』の号令で停止後自発的整頓を行い、その後指揮者の『ならえ』『直れ』『整列一休め』の号令に従う。

※各隊の停止位置は、白テープで表示

#### (3) 団長

全部隊が入場した後右翼位置にいたり、正面を向いて停止後整頓をして整列休めの姿勢をとる。

#### (4) 団・方面隊旗手

全部隊が入場後、右翼位置にいたり正面を向いて停止後整頓をして整列休めの姿勢をとる。

※団長から、右横 1. 5メートルの位置に団旗手を先頭に縦列に並ぶ

（号令 団旗手）

## 「団旗入場」

### (1) 団長

マイク放送後基本の姿勢をとり部隊に対し『気をつけ』の号令をかけ、各隊旗手が入場して点検台の前に到着、団旗手が点検台に登壇したら『かしら一中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、団旗手が降壇し、旗手が本部席前に移動（収納）を開始したら、『整列一休め』と号令をかけ部隊を休ませた後整列休めの姿勢をとる。

### (2) 団旗手・隊旗手

マイク放送後、団旗手の『気をつけ』『前へ一進め』の号令で点検台の前（※中央 本匠方面隊）まで進み『はや足一止まれ』『左向け一左』の号令で部隊に相對し、団旗手は点検台に移動し登壇、団長号令で旗の敬礼を行った後、降壇し旗手の先頭に移動『右向け一右』『前へ一進め』の号令で各旗収納位置まで移動し『はや足一止まれ』『左向け一左』『旗を一おけ』の号令で左足を1歩踏み出し団旗及び隊旗を収納、そのあと旗竿ベルトを外して側に置き、すみやかに姿勢を正し、団旗手の『右向け一右』『目標一控所』『かけ足一進め』の号令で本部席後方へ移動する。

### (3) 指揮者・隊員

団長の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は、注目の敬礼を行う。

## 「開式のことば」

### (1) 団長

マイク放送後、副市長が登壇を始めたら基本の姿勢をとり部隊に対し『気をつけ』の号令をかけ、登壇後『かしら一中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、「開式のことば」が終了後『かしら一中』『直れ』と号令をかけ、再び部隊の敬礼を行い、降壇後『整列一休め』と号令をかけて部隊を休ませた後整列休めの姿勢をとる。

### (2) 指揮者・隊員

団長の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

## 「国旗・市旗 掲揚」

### (1) 団 長

マイク放送後基本の姿勢をとり、部隊に対し『気をつけ』『国旗に注目』の号令をかけ、掲揚後『直れ』と号令をかける。引き続き「市旗に注目して下さい。」のアナウンス終了後に『市旗に注目』と号令をかけ、掲揚後『直れ』『整列一休み』の号令をかけ部隊を休ませた後整列休めの姿勢をとる。

### (2) 指 揮 者・隊 員

団長の号令で、各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

※国旗掲揚後【気をつけ】の姿勢ままで、『市旗に注目』の号令を待つ。

## 「人 員 報 告」

### (1) 団 長

点検者が登壇を始めたら基本の姿勢をとり、部隊に対し『気をつけ』の号令をかけ登壇後『かしら一中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、点検者前方5メートルの位置に移動後敬礼を行い『佐伯市消防団 総員1,000名、本日の出場人員指揮者以下〇〇名』と人員報告を行い、敬礼後右翼位置に戻り『かしら一中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い降壇後『整列一休み』と号令をかけ部隊を休ませた後列外者の位置へかけ足で移動する。

※副団長は列外者の位置へかけ足で移動。

その後は、点検者の人員服装点検の随行を行う。

### (2) 指 揮 者・隊 員

団長の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

## 「人 員 服 装 点 検」

### <点 検 準 備>

#### (1) 指 揮 者

マイク放送後基本の姿勢をとり、まわれ右を行い隊に対し『〇〇方面隊、気をつけ』『左向け一左』と号令をかけ変則二列横隊になった後中央に移動、自発的

整頓を確認後『右へーならえ』『直れ』『整列－休め』と号令をかけ、右翼分隊長の右横1.5メートルの位置に移動後列員に整頓して整列休めの姿勢をとる。

※後尾分隊長及び欠ご員は、『左向け－左』の号令で前列に移動する。

## (2) 隊 員

指揮者の『〇〇方面隊、気をつけ』『左向け－左』と号令がかかったら、隊を変則二列横隊へ変更し自発的整頓後『右へーならえ』『直れ』の号令で整頓『整列－休め』の号令で整列休めの姿勢をとる。

### <点 検 開 始> (2小隊以上の小隊は、上流側の指揮者が号令をかける)

#### (1) (上 流 側) 指 揮 者

点検者が臨場を始めたら『〇〇方面隊、気をつけ』、臨場後『かしら－中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、前方5メートルの位置に移動後敬礼を行い『〇〇方面隊、本日の出場人員指揮者以下〇〇名、只今から人員服装点検を行います。』と報告、敬礼後点検者の左横1.5メートルの位置に移動後点検者に『点検準備完了しました。』と報告し点検を促し後方を随行する。

※点検は、前列の前から後列の後ろと部隊を一周する

点検終了後には、点検者前方5メートルの位置にいたり敬礼を行い『〇〇方面隊、人員服装点検を終了しました。』と報告、再び敬礼後右翼分隊長の右横1.5メートルの位置に移動後列員に整頓してから『かしら－中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、点検者が退場後『整列－休め』と号令をかける。

#### (2) 他 の 指 揮 者・隊 員

上流側指揮者の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

### <退 場>

#### (1) 各 指 揮 者

全部隊の点検終了後中央に移動して『〇〇方面隊、気をつけ』『目標、分列行進控所』『右向け－右』と号令をかけ部隊（縦隊）の中央1.5メートルの位置に部隊に面して停止、まわれ右を行い『かけ足－進め』と号令をかけて発進、右翼の方面隊（佐伯方面隊）から、旧佐伯大橋側（分列行進控所）に順次退場する。

※後尾分隊長及び欠ご員は、『右向けー右』の号令で右翼に移動する。

控所に部隊より先行して停止後、まわれ右をして部隊が到着するのを待ち、部隊が所定の位置に到着後『かけ足ー止まれ』の号令をかけ、自発的整頓終了後に『車両部隊列外』の号令をかけ、部隊に『ならえ』『直れ』『整列ー休め』の号令をかけて休ませた後まわれ右をして整列休めの姿勢をとる。

## (2) 隊 員

指揮者の『〇〇方面隊、気をつけ』『目標、分列行進控所』『右向けー右』で右に向きを変え4列縦隊となり『かけ足ー進め』で発進、分列行進控所へ移動する。控所に到着後『かけ足ー止まれ』の号令で停止、自発的整頓後『車両部隊列外』の号令で車両部隊が列外に抜けたら『ならえ』『直れ』『整列ー休め』の号令に従い整列休めの姿勢をとる。

※旗手は、最右翼分隊長（佐伯方面隊）の横で全部隊が控所に退場して来るまで団旗手を先頭に縦列で待機し全部隊の退場が終了後、団旗手が分列行進控所の前に出て『旗手ー集まれ』の号令をかける。

## (3) 旗 手

団旗手は、分列行進控所の前で右手を垂直に挙げ『旗手ー集まれ』と号令をかけ、先頭旗手が『基準』と呼称し自主整頓終了後に中央に移動『右へーならえ』『なおれ』『目標ー旗の位置』『右向けー右』と号令をかけ、先頭旗手に面して停止後回れ右をして、『かけ足ー進め』と号令をかけ本部席前の旗の位置まで進み『かけ足ー止まれ』『左向けー左』『旗を持って』と号令をかけ、左足を1歩踏み出して旗竿バンドを腰に巻き、旗竿をバンドに納め各旗手が基本の姿勢をとったら『目標、分列行進控所』『右向けー右』『かけ足ー進め』で発進し、控所前で『かけ足ー止まれ』の号令をかけて、中央に移動して『左向けー左』『わかれ』と号令をかけて解散する。※詳細については、図面参照 No. 5

その後各旗手は、自方面隊の指揮者後方2メートルの位置へかけ足で移動する。

## (4) 車 両 部 隊

控所に到着後、指揮者の『車両部隊列外』の号令後、車長と機関員は、自隊の車両までかけ足で移動する。

## 「分 列 行 進」

### (1) 標 員 (〇〇方面隊)

出発付近(本部席下流側)に待機し、点検者が登壇し来賓者等が所定の位置に整列後始点標員が『気をつけ』『かけ足一進め』と号令をかけ、点検者前方3メートルの位置に移動『かけ足一止まれ』『右向け一右』の号令をかけた後自発的整頓をして『敬礼』と号令をかけ拳手注目の敬礼を行い、答礼を待って手をおろし『直れ』と号令をかけ『只今から、標員勤務につきます。』と報告を行い、再び『敬礼』『直れ』と号令をかける。

次に『左向け一左』の号令をかけ(自らは右向きとなり)『8歩前へ一進め』『左向け一左』と号令をかけ標員勤務につく。

分列行進終了後、『左向け一左』(自らは右向きを行い)『8歩前へ一進め』『左向け一左』と号令をかけ、自発的整頓後『敬礼』『直れ』と号令をかけ、拳手注目の敬礼を行った後『標員勤務を終了しました。』と報告、再び『敬礼』『直れ』と号令をかけ『右向け一右』『かけ足一進め』の号令で退場する。

### (2) 団 長

標員が報告後標員勤務についたのを確認してまわれ右を行い『気をつけ』『分列行進一開始』の号令をかけ、再びまわれ右をして正面向きとなり『分列に前へ一進め』と号令をかけ行進を開始する。

始点標員に至って『かしら一右』終点標員を通過後『直れ』と号令をかけた後、かけ足で来賓席上流側の所定の位置に移動して分列行進終了まで同所に位置する。 ※詳細については、図面参照 No. 10

#### (終了標員通過後の副団長2名の動き)

1名は団長の横に並び、放水点検総合指揮者を担当する副団長は本部席へ移動する。

分列行進終了後、団長の指揮で副団長・旗手解散

### (3) 指 揮 者 ・ 隊 旗 手

各指揮者は、前部隊と15メートルの距離をとり、『分列に前へ一進め』の号令をかけ行進を開始する。始点標員に至って『かしら一右』、終点標員を隊旗が通過後『直れ』と号令をかけた後、『かけ足一進め』と号令をかけ控所へ誘導する。

控所に先行しまわれ右をして部隊の到着を待つて『かけ足一止まれ』『放水点検要員列外』と号令をかけ、その後『ならえ』『直れ』『整列一休め』と号令をかけ、部隊を休ませてからまわれ右をして整列休めの姿勢をとる。

隊旗手は、終点標員通過後指揮者の『かけ足一進め』の号令後、かけ足で来賓席上流側の所定の位置に移動して、団長の横に並び分列行進終了まで旗の敬礼を行い同所に位置する。

分列行進終了後、団長の指揮で解散。

隊旗の収納については、解散後すみやかに来賓席及び本部席後方を通して、各方面隊の旗の位置に隊旗を立て、本部席後方にかけて足で移動する。

#### (4) (基準列) 最右翼先頭分隊長

第1分隊長は、『かしら一右』で注目することなく目標に向かって行進する。

#### (5) 隊員

隊員は、『かしら一右』で頭を点検者に向けて注目、『直れ』で頭をすみやかに正面に戻し行進を続け、指揮者の『かけ足一進め』の号令で控所に移動『かけ足一止まれ』の号令で停止し、『放水点検要員列外』の号令後点検要員が列外に出た後『ならえ』『直れ』『整列一休め』の号令で整列休めの姿勢をとる。

※『かけ足一進め』のかけ足一の予令時、腕はかけ足要領となる。

#### (6) 車両部隊

徒歩部隊から10メートルの距離をとり先頭車両の車長は、『分列に前へ一進め』と号令をかけ並列縦隊で発進して行進する。

※車両間隔 前車両とは5メートルの距離をとり、並列の車両とは（横 約3メートル）の間隔を取って行進する。

※赤色回転灯・前照灯を点灯させ、運転席・助手席の窓は全開にすること。

機関員は、頭を点検者に向けることなく正面を向いて運転すること。

分隊長は、始点標員に至って点検者に挙手注目の敬礼をし、終点標員に至って手を下ろし隊員控所後方（所定の位置）に車両を移動して下車しすみやかに部隊に合流すること。

#### (7) 総合指揮者（副団長）

分列行進終了後かけ足で本部席へ移動後、ピンマイクを装着し赤白旗を持って放水点検控所の所定の位置までかけ足で移動する。

※放水点検 土手の上で予備旗（大旗振り）を振る団員も分列行進終了後に、かけ足で本部席へ集合すること。（赤白旗を渡します。）

## 「放水点検」 本会場で実施

### 「点検準備」

#### （１）総合指揮者（副団長）

放水点検のマイク放送後、放水点検控所の部隊中央付近にて放水点検要員が防火着を着用し五列横隊に整頓したのを確認後『気をつけ』『目標点検会場』『右向け—右』と号令をかけ、最右翼分隊長（佐伯）の左横1.5メートルの位置に移動した後『かけ足—進め』と号令をかけ部隊と共に点検会場に入場し、途中から先行し指揮位置に停止（本部席に相對）後、まわれ右をして（部隊に面し）、部隊が所定の位置に到着後『かけ足—止まれ』『左向け—左』と号令をかけ部隊が正面を向き自主整頓後『ならえ』『直れ』『整列—休め』の号令をかけ部隊を休ませた後最右翼分隊長（佐伯）右横1.5メートルの位置に回り込み停止をして整列休めをする。

#### （２）分隊長

控所到着後方面隊長の『放水点検要員列外』の号令で、控所後方で防火着を着用後放水点検控所で縦列に並び自主整頓し、点検要員が集合後総合指揮者の『気をつけ』『目標点検会場』『右向け—右』『かけ足—進め』の号令で点検会場へ移動『かけ足—止まれ』『左向け—左』で左に向きをかえ正面向きとなり、自主整頓（最右翼基準列員に整頓）後『ならえ』『直れ』『整列—休め』の号令で整列休めをする。（※分隊長は、整頓号令時まわれ右をせずに、正面向き）

※「自主整頓」及び「ならえ」の際、顔だけ向けて整頓をする。  
手を挙げなくて良い。

#### （３）隊員

控所到着後指揮者の『放水要員列外』の号令で、控所後方で防火着を着用後放水点検控所で縦列（佐伯～蒲江の順）に並び自主整頓後、総合指揮者の『気をつけ』『目標点検会場』『右向け—右』『かけ足—進め』の号令で点検会場へ移動『かけ足—止まれ』『左向け—左』で左に向きをかえ正面向きとなり、自主整頓（最

右翼基準列員に整頓) 後『ならえ』『直れ』『整列—休め』の号令で整列休めをする。

## <点 検 開 始>

### (1) 総 合 指 揮 者

点検者が登壇したら『気をつけ』『かしら—中』『直れ』と号令をかけ、点検者前方5メートルの位置にいたり敬礼後『佐伯市消防団、只今から放水点検を開始します。』と報告してから再び敬礼を行い、点検者の右横1.5メートルの位置に移動し『点検開始』と号令をかけ赤旗を上げる。

※分隊長がまわれ右をした後に赤旗を下げる。

### (2) 分 隊 長

総合指揮者の『気をつけ』『かしら—中』『直れ』の号令で挙手注目の敬礼を行い、その後『点検開始』の号令でまわれ右をして『番号』『定位に—つけ』と号令をかけて、かけ足で分隊長の所定の位置まで進み、各番員が定位に着いたのを確認後余裕ホースを確認し1番員の左横に移動して赤旗を上げて各番員が定位に着いた事を総合指揮者へ合図をする。

### (3) 各 番 員

総合指揮者の『気をつけ』『かしら—中』『直れ』の号令で注目の敬礼をする。その後、分隊長の『番号』『定位に—つけ』の号令で、まわれ右をして各小型ポンプ設置場所までかけ足で進み定位置に付く。

※「まわれ右」は、隊の中心部分の分隊であり、その他の隊にあっては、自分たちのポンプ設置場所方向へ向きを変える。

1 番 員 (筒 先 員)                      2 番 員 (筒先補助員)

3 番 員 (色粉要員)                      4 番 員 (機 関 員)

## <放水開始>

### (1) 総合指揮者

全分隊長の赤旗が挙げたのを確認後、点検者に向きを変え「点検準備完了しました。」と報告をして正面向きとなり、白旗を垂直に上げ【エンジン始動+揚水】の合図を行う。（一度降ろす。）

各分隊長の赤旗【エンジン始動+揚水完了】が垂直に上がったのを確認して、白旗を真横に上げ【放水始め=水平放水】、垂直に上げ【直上放水】、白旗と赤旗を交差して【三角放水】、白旗を垂直に上げて【直上放水】、白旗を真横にして【水平放水】と注水方向及び角度の変換を行い、最後に赤旗を垂直に上げて【放水止め】の合図を行う。

※放水圧は、4Kを基本とする。

しかし、ポンプの性能等で放水が弱い場合には、機関員の判断に委ねる。

### 【放水時間】

水平放水	40秒	直上放水	30秒、
三角放水	30秒		
直上放水	30秒	水平放水	40秒
		合計放水時間	2分50秒

### (2) 分隊長

総合指揮者の白旗【エンジン始動+揚水】の合図で、【エンジン始動+揚水】までを4番員に指示し、準備が出来たことを確認後、総合指揮者に対し赤旗を垂直に上げて合図する。

※出場隊の全ての【エンジン始動+揚水】迄が完了して次の指示を出す。  
それまでは赤旗は、挙げておくこと。（※約1分程度）

その後は、総合指揮者の注水方向の変換を1番員に指示するとともに放水の補助を行い、【放水止め】の赤旗の合図で各番員に放水中止（※4番員には、エンジン停止）を指示し、防火着を着たまま所定の位置に戻り『集まれ』と号令をかけ、各番員がポンプ前に横一列に並び自主整頓後「ならえ」「直れ」の号令をかける。

※所定の位置については、図面を参照

### (3) 各 番 員

各番員は、分隊長の指示に従いそれぞれの任務にあたり放水点検を行う。

次いで『放水中止』の合図で、4番員はスロットル操作をした後、エンジン停止を行い、その後分隊長の『集まれ』の号令で防火着を着たまま所定の位置に集まり自発的整頓を行い、「ならえ」「直れ」の号令に従う。

※所定の位置については、図面を参照

## <点 検 報 告>

### (1) 分 隊 長

各番員が所定の位置へ集合したら『点検報告』と号令をかけて、各番員の報告に対して『よし』と呼唱する。

各番員の報告が終了したら、その場でまわれ右をして正面向きとなる。

### (2) 各 番 員

分隊長の『点検報告』の号令で、1番員から順次向きを変え『○番員、異常なし』と報告し、分隊長の『よし』で正面向きになる。

## <集 合>

### (1) 総 合 指 揮 者

各分隊の点検報告が終了して、分隊長が正面向きとなったのを確認後『元の位置に一集まれ』と号令をかけ入場した元の位置へ各分隊を集め自主整頓後『ならえ』『直れ』の号令をかける。

### (2) 分 隊 長

総合指揮者の『元の位置に一集まれ』の号令後、かけ足で入場した元の位置へ集まり、自主整頓（最右翼基準列員に整頓）後、総合指揮者の『ならえ』『直れ』『整列—休め』の号令で整列休めをする。（※分隊長は、整頓号令時まわれ右をせずに、正面向き）

### (3) 各 番 員

総合指揮者の『元の位置に一集まれ』の号令後、かけ足で入場した元の位置へ集まり、自主整頓（最右翼基準列員に整頓）後、『ならえ』『直れ』の号令に従い整頓を行う。

## <結 果 報 告>

### (1) 総 合 指 揮 者

各分隊が入場した位置へ整列したならば、『結果報告』の号令をかけ各隊右翼分隊長からの報告に答礼して『よし』と呼唱する。

### (2) 各 方 面 隊 右 翼 分 隊 長

総合指揮者の『結果報告』の号令で、各隊右翼分隊長は一斉に総合指揮者に向きを変え右翼分隊長（佐伯）から順次敬礼をして「〇〇方面隊、異常なし。」と結果報告を行い、総合指揮者の『よし』で敬礼をした後正面向きとなる。

## <終 了 報 告>

### (1) 総 合 指 揮 者

『結果報告』終了後、点検者前方5メートルの位置にいたり敬礼を行い『佐伯市消防団、放水点検を終了しました。』と報告、再び敬礼して最右翼分隊長（佐伯）の右横1.5メートルの位置に移動後『かしら一中』『直れ』と号令をかける。

### (2) 分 隊 長・隊 員

総合指揮者の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、分隊長は挙手注目の敬礼、各番員は注目の敬礼を行う。

## <解 散>

### (1) 総 合 指 揮 者

点検者が降壇したら部隊の中央に移動して『目標—放水点検控所』『左向け—左』と号令をかけ、最左翼分隊（蒲江方面隊）の分隊長右横1.5メートルに移動『かけ足—進め』と号令をかけて控所へ移動、先行して元の指揮位置へ左向け

停止をし、点検要員が控所に入ったら、『かけ足—止まれ』『右向け—右』と号令をかけて、部隊を正面向きにさせ『解散—わかれ』と号令をかけ、答礼を行い自隊に戻る。

## (2) 分 隊 長・各 番 員

総合指揮者の『目標—放水点検控所』『左向け—左』の号令で左に向きを変え『かけ足—進め』の号令で控所まで移動し『かけ足—止まれ』『右向け—右』の号令で正面向きとなり『解散—わかれ』の号令に敬礼を行い自隊に戻る。

部隊の敬礼時には、分隊長は挙手注目の敬礼、各番員は注目の敬礼を行う。

## 「小型ポンプ 操 法 実 演 」

事前に、整列させ整列休めの状態で待機

### (1) 進 行 員

マイク放送後、『直川方面隊準備はよいか』指揮者の『準備よし』の後旗を挙げ『操法開始』旗を降ろし、開始報告を受ける位置へ移動。

### (2) 指 揮 者

進行員の『直川方面隊準備はよいか』で『準備よし』『操法開始』で操法を開始する。

## 「休 憩」

### (1) 各 指 揮 者

マイク放送で、まわれ右をして『15分間休憩—わかれ』と号令をかけ、答礼を行い解散して休憩に入る。

※小型ポンプ操法実演見学の隊員は、実演終了後各指揮者の『15分間休憩—わかれ』の号令に対して敬礼を行い15分間の休憩に入る。

※各指揮者は、小隊員へ再開5分前にマイク放送を行うので、放送後はすみやかに元の位置へ集合するように伝えて下さい。

## 「再開」 マイク放送『 団員は、閉会式の隊形に集合して下さい。』

### (1) 指揮者

マイク放送後所定の位置で『〇〇方面隊、縦隊に集まれ』と号令をかけ、中央に至り『ならえ』『直れ』『整列－休め』と号令をかけて部隊を休ませた後まわれ右をして整列休めの姿勢をとる。

※副団長は列外（団長と同時に入場後、右翼位置に整列）

### (2) 分隊長・隊員

集合要領は、準備会場の集合要領に準じて行うこと。

## 「閉会式」

### 「団員入場」

#### (1) 指揮者

指揮者は、マイク放送後基本の姿勢をとりまわれ右をして『〇〇方面隊、気をつけ』『目標、点検会場』と号令をかけた後まわれ右をして正面を向き『かけ足－進め』と号令をかけ発進する。

部隊を点検会場に先導、先行して停止（本部席に相對）後まわれ右をして（部隊に面し）部隊が所定の位置に到着後『かけ足－止まれ』と号令をかける。

自発的整頓終了後、『ならえ』『直れ』『整列－休め』と号令をかけ部隊を休ませた後まわれ右（本部席に相對）をして整列休めの姿勢をとる。

#### (2) 団員

指揮者の『〇〇方面隊、気をつけ』の号令に従い『目標、点検会場』『かけ足－進め』の号令後かけ足で点検会場に入場、所定の位置に到着後、指揮者の『かけ足－止まれ』の号令で停止し自発的整頓を行い、その後指揮者の『ならえ』『直れ』『整列－休め』の号令に従う。

※各隊の停止位置は、赤テープで表示

### (3) 団 長・副 団 長

全部隊が入場した後右翼の位置にいたり、正面を向いて停止し整頓後整列休めの姿勢をとる。

## 「講 評」

### (1) 団 長

点検者が登壇を始めたら、基本の姿勢をとり『気をつけ』の号令をかけ、登壇後『かしら一中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、講評終了後『気をつけ』『かしら一中』『直れ』の号令をかけ、降壇後に『整列一休み』の号令をかけ部隊を休ませ整列休めの姿勢をとる。

### (2) 指 揮 者・隊 員

団長の号令に従い、各動作を行う。  
部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

## 「表 彰」 マイク放送「表彰披露並びに表彰伝達」

※消防庁長官表彰等については、しおりの被表彰者名簿をもって披露

### マイク放送 ～ 「表彰伝達 佐伯市消防団長表彰」

### (1) 団 長

マイク放送終了後、基本の姿勢をとり点検台へかけ足で向かう。  
登壇後部隊の敬礼に対して答礼を行う。

次に、表彰者の敬礼に対し答礼を行い、表彰状授与後にも答礼を行う。

その後、部隊の敬礼に対し答礼を行い、降壇して右翼位置に戻る。

### (2) 副 団 長

団長が点検台に登壇を始めたら部隊に『気をつけ』の号令をかけ、登壇した

ら『かしら一中』『直れ』と号令をかけ、表彰式終了後『かしら一中』『直れ』の号令をかけて部隊の敬礼を行う。

団長が降壇後『整列一休め』と号令をかけ部隊を休ませ整列休めの姿勢をとる。

### **(市長表彰の場合、団長が号令)**

#### **(3) 指揮者・隊員**

副団長の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

#### **(受章者)【〇〇方面隊〇〇】 ※受章要領**

マイク放送後授与者から5メートルの位置に至り、受章理由のアナウンス後敬礼を行い、代表者が受領しやすい位置にまで前進、賞状を両手で受け取り確認後、左手で保持し元の位置に戻り、敬礼後退去し部隊後方より自隊へ戻る。

※受章理由のアナウンスが終了後、「敬礼」を行うこと。

**※市長表彰の場合、受賞者が多くなるため代表者1名を選抜**

### **「来賓祝辞」(4名予定)**

※講評と同じ要領で実施する。

### **「団長謝辞」**

#### **(1) 団長**

点検者が登壇を始めたら、基本の姿勢をとり部隊に対し『気をつけ』の号令をかけ、登壇後『かしら一中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、点検者の前方5メートルの位置にいたり敬礼を行い謝辞を述べ、再び敬礼を行った後右翼位置に戻り『かしら一中』『直れ』と号令をかけ、降壇後『整列一休め』の号令をかけ部隊を休ませて整列休めの姿勢をとる。

#### **(2) 指揮者・隊員**

団長の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

## 「火の用心三唱」

※「講評」と同じ要領で実施する。

## 「万歳三唱」

※「講評」と同じ要領で実施する。

## 「国旗・市旗降納」

※国旗・市旗後納は、同時に行う。

### (1) 団長

※『気をつけ』『国旗・市旗に注目』

(後納後) 『直れ』『整列－休め』

## 「閉式のことば」

※「開式のことば」と同じ要領で行う。

## 解 散

## 「団長あいさつ」

### (1) 団長

マイク放送後基本の姿勢を取り点検台へ登壇し、部隊の敬礼に対し答礼を行い、団員へ対し挨拶を行った後、部隊の敬礼に答礼を行い降壇、本部席へ移動する。

### (2) 副団長

団長が登壇を始めたら、基本の姿勢をとり部隊に対し『気をつけ』の号令をかけ、登壇したら『かしら－中』『直れ』と号令をかけ部隊の敬礼を行い、あ

いさつ終了後『かしら一中』『直れ』と号令をかけ、降壇後『整列一休め』の号令をかけ部隊を休ませて整列休めに姿勢をとる。

### (3) 指揮者・隊員

副団長の号令で各動作を行う。

部隊の敬礼時には、指揮者は挙手注目の敬礼、隊員は注目の敬礼を行う。

## 「解散」 マイク放送「各方面隊長の指揮で解散して下さい。」

### (1) 各方面隊長

マイク放送終了後、気をつけの姿勢をとり、自隊中央までかけ足で移動して部隊に面して停止し、『〇〇方面隊、気をつけ』の号令後、隊員へ対してあいさつを行い『わかれ』の号令をかけ部隊に対して答礼をして解散する。

### (2) 隊員

方面隊長の『〇〇方面隊、気をつけ』の号令で気を付けの姿勢となり、あいさつ終了後『わかれ』の号令に対して挙手注目の敬礼をして解散する。

# 平成29年 佐伯市消防団 出初式 号令集

## 「準備会場」

### <団員集合>

指揮者

所定の位置で『〇〇方面隊、縦隊に集まれ』と号令をかけ、中央に移動後、『ならえ』『直れ』『番号』『整列一休め』まわれ右をして正面を向く。

### <団長臨場>

副団長

『気をつけ』『かしら一中』『直れ』

### <人員報告>

指揮者

敬礼をして『〇〇方面隊、〇〇名』と報告、団長の『よし』の後敬礼。(※以下、順次指揮者は同様の人員報告を行う。)

※引き続き、団長のあいさつ

### <あいさつ終了>

副団長

『かしら一中』『直れ』『整列一休め』

## 「団員入場」

指揮者

まわれ右をして、  
『〇〇方面隊、気をつけ』『目標、点検会場』まわれ右をして  
『かけ足一進め』点検会場に先導し、先行して停止後まわれ右  
をして、  
『かけ足一止まれ』『ならえ』『直れ』『整列一休め』の後ま  
われ右をして、整列休めをする。

## 「団旗入場」

- 団長 『気をつけ』  
団旗手が点検台登壇後、『かしら一中』『直れ』  
団旗手が降壇後、『整列一休み』
- 団旗手 『気をつけ』『前へ一進め』で点検台中央付近まで移動、  
『はや足一止まれ』『左向け一左』で部隊に相對させ、点検台へ移動し登壇する。  
団長の『かしら一中』で旗の敬礼『直れ』、の後降壇し先頭に戻り、  
『右向け一右』『前へ一進め』で団旗収納位置まで移動、  
『はや足一止まれ』『左向け一左』『旗をおけ』の号令で旗を収納し、姿勢を正した後  
『右向け一右』『目標控所』『かけ足一進め』で本部席後方へ移動。

## 「開式のことば」

- 団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』
- (終了後) 『かしら一中』『直れ』『整列一休み』

## 「国旗市旗掲揚」

- 団長 『気をつけ』『国旗に注目』『直れ』
- 団長 『市旗に注目』『直れ』『整列一休み』

## 「人員報告」

- 団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』  
点検者の前に移動して、敬礼。  
『佐伯市消防団、総員1000名、本日の出場人員指揮者以下00名』と報告して敬礼、その後右翼位置に戻り、  
『かしら一中』『直れ』『整列一休み』

## 「人員服装点検」 (2小隊以上の小隊は、上流側の指揮者が号令)

指揮者 まわれ右 『〇〇方面隊、気をつけ』『左向けー左』(2列横隊)  
中央に移動『右へーならえ』『直れ』『整列ー休め』の号令後  
右翼分隊長、右1.5メートルの位置に移動。

「点検者臨場」 『〇〇方面隊、気をつけ』『かしらー中』『直れ』

<開始報告> 点検者前方5メートルに移動、敬礼をして  
『〇〇方面隊、本日の出場人員指揮者以下〇〇名、只今から  
人員服装点検をいます。』と報告して敬礼、  
点検者横に移動し、『点検準備完了しました。』と報告、  
点検を促し点検者の後方を随行する。

<終了報告> 点検終了後、点検者前方5メートルの位置に移動後、敬礼を  
して『〇〇方面隊、人員服装点検を終了しました。』報告後、  
敬礼をして右翼位置に移動、『かしらー中』『直れ』点検者  
が移動したら『整列ー休め』

<退場> 中央に移動、『〇〇方面隊、気をつけ』  
『目標、分列行進控所』『右向けー右』(4列縦隊)  
中央1.5メートルの位置に移動『かけ足ー進め』  
控所に先行し『かけ足ー止まれ』『車両部隊列外』『ならえ』  
『直れ』『整列ー休め』

車両部隊 積載車に乗車して、分列行進徒歩部隊後方に待機する。

## 「分列行進控所」

団旗手 全方面隊が分列行進控所に入り終えるまで、最右翼分隊(佐  
伯方面隊)の横に、団旗手を先頭に縦列で待機しておく  
全方面隊の退場が終わり次第、控所前にかけて足で進み  
『旗手ー集まれ』『右へーならえ』『なおれ』  
『目標ー旗の位置』『右向けー右』『かけ足ー進め』

と号令をかけ、旗の位置で『かけ足—止まれ』『左向け—左』『旗を持って』と号令をかけて、各旗手が隊旗を持ったら、『目標分列行進控所』『右向け—右』『かけ足—進め』と号令後、控所前で『かけ足—止まれ』その後中央にいたり『左向け—左』『わかれ』と号令をかける。

## 「分列行進」

### 始点標員

点検者登壇後、『気をつけ』『かけ足—進め』で点検者前方3メートル位置に移動し、『かけ足—止まれ』『右向け—右』『敬礼』『直れ』『只今から、標員勤務につきます。』『敬礼』『直れ』『左向け—左』『8歩前へ—進め』『左向け—左』

行進終了後『左向け—左』『8歩前へ—進め』『左向け—左』の後自発的整頓『敬礼』『直れ』『標員勤務を終了しました。』と報告後、『敬礼』『直れ』『右向け—右』『かけ足—進め』と号令をかけて退場（入場した場所）する。

### 団長

全部隊が集合したら、出発地点に移動。

マイク放送で、まわれ右をして

『気をつけ』『分列行進—開始』まわれ右をして、

『分列に前へ—進め』『かしら—右』

『直れ』終点標員通過後、来賓席上流側の所定の位置に移動して、分列行進終了まで同所に位置し、終了後副団長・旗手に対し団長号令で解散させる。

### 団旗手

前部隊と15メートルの距離をとり『分列に前へ—進め』『かしら—右』『直れ』団長は、かけ足で来賓席上流側の所定の位置に移動して、分列行進終了まで同所に位置し、団長号令で解散する。

団旗手は、標員通過後団長と共に来賓席上流側にかげ足で移動して、分列行進終了まで団長の横で旗の敬礼を行い、その後団長号令で解散をする。

解散後には、すみやかに来賓席及び本部席後方を通って、団旗を収納して、本部後方に移動する。

<b>指揮者</b>	<p>団長と10メートルの距離をとり『分列に前へー進め』『かしらー右』『直れ』途中から『かけ足ー進め』控所に先導する。</p> <p>控所に先行して『かけ足ー止まれ』『放水要員列外』『ならえ』『直れ』『整列ー休め』</p>
<b>隊旗手</b>	<p>終点標員通過後、指揮者の『かけ足ー進め』後来賓席上流側に移動して、分列行進終了まで同所に位置し、団長号令で解散する。</p> <p>解散後には、すみやかに来賓席及び本部席後方を通って、団旗を収納して、本部後方に移動する。</p>
<b>車両部隊</b>	<p>先頭車両の車長は、『分列に前へー進め』と号令をかけて並列縦隊で発進</p>

## 放水点検・・・(本会場)

(放水点検準備)～マイク放送

### 「放水点検・・・(会場)」

(放水点検準備)～マイク放送

**総合指揮者** 放水点検準備のマイク放送で、控所後方で放水要員が防火着を着用し、放水点検控所で五列横隊に並んでいる部隊に対し『気をつけ』『目標点検会場』『右向けー右』で最右翼分隊長(佐伯)の左横1.5メートルの位置に移動して『かけ足ー進め』途中から先行し部隊の中央で『かけ足ー止まれ』『左向けー左』で正面向きになったら、『ならえ』『直れ』『整列ー休め』で部隊を休ませた後、最右翼分隊長(佐伯)右横1.5メートルの位置に移動する。

**分隊長** 分列行進控所で防火着を着用後、放水点検控え所で5列横隊に自主整頓し順次待機しておき、全ての隊が控所に集合後、総

合指揮者の号令に従い点検会場に進行し、『かけ足一止まれ』『左向け一左』で正面向きとなったら、自主整頓後『ならえ』『直れ』『整列一休め』の号令に従う。

#### 各番員

分列行進控所後方で防火着を着用し、放水点検控所で（佐伯・上浦・弥生・本匠・宇目・直川・鶴見・米水津・蒲江）の順に五列横隊を作り自主整頓をして待機、その後、放水点検総合指揮者の号令に従い点検会場に進行し、『かけ足一止まれ』『左向け一左』で正面向きとなったら、自主整頓後『ならえ』『直れ』『整列一休め』の号令に従う。

### <点 検 開 始>

#### 総合指揮者

点検者が登壇したら、『気をつけ』『かしら一中』『直れ』点検者前方5メートルの位置で敬礼後『佐伯市消防団、只今から放水点検を開始します。』と報告後、点検者の左横1.5メートルの位置に移動し、『点検開始』と号令をかけ赤旗を上げる。

#### 分隊長

『点検開始』の号令で、まわれ右をして、『番号』『定位につけ』と号令をかけ、かけ足で所定の位置へ移動後、各番員が定位ついたのを確認後、余裕ホースを確認して1番員の左横に移動後、赤旗を上げて総合指揮者へ合図をする。

#### 各番員

総合指揮者の『点検開始』の号令後、分隊長が『番号』『定位につけ』と号令をかけたなら、まわれ右を行い、かけ足で各ポンプ設置場所へ進み、各番員の定位に付く。

#### 総合指揮者

分隊長が定位ついたのを確認して、白旗を垂直に上げ【エンジン始動+揚水】、一度白旗を降ろし、分隊長の赤旗が上がったのを確認して、白旗を真横に上げ【放水始め=水平放水】、白旗を垂直に上げ【直上放水】、白旗と赤旗を交差させて【三角放水】、白旗を垂直に上げ【直上放水】、

白旗を真横にして【水平放水】、  
赤旗を垂直に上げて【放水止め】の合図をする。

分隊長 総合指揮者の白旗の合図により【エンジン始動+揚水】が完了したのを確認後、赤旗を垂直に上げ、総合指揮者に合図する。

※放水点検

放水止めの赤旗で、各隊員に  
『放水中止（4番員 エンジン停止）』を指示した後、防火着を着たまま所定の位置に戻り、  
『集まれ』と号令する。

#### <点 検 報 告>

分隊長 各番員が元の位置に集まったら『点検報告』『よし』  
報告終了後、まわれ右をして正面向きとなる。

各番員 『O番員、異常なし』（1番員～4番員）

総合指揮者 各分隊の結果報告が終了後、『元の位置に一集まれ』と号令をかけ、入場した隊形に集まり自主整頓後に『ならえ』『直れ』の号令をかける。

分隊長・番員 総合指揮者の『元の位置に一集まれ』と号令があったなら、かけ足で入場した隊形に集合し、自主整頓を行い『ならえ』『直れ』の号令に従う。

#### <結 果 報 告>

総合指揮者 自主整頓が終了後、『結果報告』  
各分隊長の『結果報告』に対して、『よし』と答えて答礼を行う。

点検者前方5メートルで敬礼して、  
『佐伯市消防団、放水点検を終了しました。』と報告。  
その後、最右翼分隊長（佐伯）右横1.5メートルの位置で  
『かしら一中』『直れ』

**分隊長** 総合指揮者の『結果報告』で、  
各隊右翼分隊長のみ『〇〇方面隊、異常なし』と報告し、  
敬礼をして正面を向く。

**<解 散>**

**総合指揮者** マイク放送の後、部隊中央に移動『目標—控所』『左向け—左』  
の号令後、最左翼分隊（蒲江方面隊）の分隊長右横1.5メー  
トルの位置に移動し、『かけ足—進め』と号令をかけて控所に  
移動、先行して指揮位置へ左向け停止し、放水要員が控所に入  
ったら、部隊中央で『かけ足—止まれ』『右向け—右』、その  
後『解散—わかれ』と号令をかける。

**分隊長・番員** 総合指揮者の号令に従う。

**「小型ポンプ操法実演」**

**進行員** マイク放送の後、指揮者の前方位置で『直川方面隊準備はよいか』  
指揮者の『準備よし』で旗を挙げ『操法開始』

**指揮者** 進行員の『直川方面隊準備はよいか』で『準備よし』

**「休 憩」**

**指揮者** マイク放送で、まわれ右をして『15分間休憩—わかれ』

**「再 開」**

**指揮者** マイク放送で、所定の位置にて  
『〇〇方面隊、縦隊に集まれ。』『ならえ』『直れ』『整列—休め』

**「閉 会 式」**

**<入 場>** 団員入場と同じ要領。

指揮者 まわれ右をして、『〇〇方面隊、気をつけ』『目標、点検会場』  
まわれ右をして『かけ足一進め』  
点検会場に先導し、先行してまわれ右をして、『かけ足一止まれ』  
『ならえ』『直れ』『整列一休め』の後まわれ右をして整列休めを  
する。

### 「講 評」

団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』

(終了後 『かしら一中』『直れ』『整列一休め』

### 「表 彰」・・・団長表彰

副団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』

(終了後) 『かしら一中』『直れ』『整列一休め』

### 「団長謝辞」

団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』  
点検者前方5メートルの位置に移動。敬礼をして謝辞を述べ、

終了後、敬礼をして右翼位置に移動する。  
『かしら一中』『直れ』『整列一休め』

### 「火の用心三唱」

団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』

(終了後) 『かしら一中』『直れ』『整列一休め』

### 「万 歳 三 唱」

団長 『気をつけ』『かしら一中』『直れ』

(終了後) 『かしら一中』 『直れ』 『整列一休め』

### 「国旗・市旗 降納」

団長 『気をつけ』 『国旗・市旗に注目』

(後納後) 『直れ』 『整列一休め』

### 「閉式のことば」

団長 『気をつけ』 『かしら一中』 『直れ』

(終了後) 『かしら一中』 『直れ』 『整列一休め』

## 解 散

### 「団長あいさつ」

団長 点検台に登壇し、団員へあいさつ後、部隊に対し答礼を行い降壇する。

副団長 『気をつけ』 『かしら一中』 『直れ』

終了後『かしら一中』 『直れ』 『整列一休め』 で一旦部隊を休ませる。

### 「解 散」

各方面隊長 解散指示のマイク放送終了後、気を付けをして、自隊中央までかけ足で移動して部隊に面して停止後『〇〇方面隊、気をつけ』の号令をかけ、隊員へあいさつを行い、『わかれ』の号令で部隊の敬礼に答礼を行い解散する。